

あこがれのたより

4月

発行責任者
前田 功

【校長室より】

平成23年度 始まる



生きとし生けるものみな命の喜びを謳歌する心地よい春の季節となりました。大きな希望と期待に胸を膨らませて入学してきた183名の新入生を迎えて、3学年揃って、平成23年度がスタートしました。本年度も昨年同様、学校スローガンを
日本一輝いている高等学校へ

～ 城跡に集う 熱き心を持った若人よ 志を立て 伸ばせ才能 青春の夢叶うまで ～
としています。

教育方針として、「不易と流行」（これまでの指導の継続と発展）を掲げ、生徒の進路目標の達成に向けて教職員一丸となって努力してまいります。今年も昨年同様よろしくお祈りいたします。

さて、学校というところは、「生徒のためにあるところ」「嫌なこともさせなければ、しなければならぬところ」です。生徒に迎合することなく、しっかり教え込む、嫌なこともさせなければならぬ、という強い気持ちで指導しています。学校は勉強するところ、人類が蓄積してきた英知を伝授するところです。また、生徒たちは学ぶために学校に通っています。学ぶことを教え込まなければ、学校は荒れてきます。嫌なこともさせて、苦勞が作り出す心の栄養を摂らせる指導を推進していきます。

そして、「学習と部活動と読書の鼎立に頑張るところ」です。高校生にとって心身ともに柔軟であるということは、何物にも代え難い「宝物」です。普段の生活の中で、「汗を流し」、「涙を流す」ことで「説明のいらない友人を得られる」という点でも極めて大きな意義があります。「学習と部活動の両立」は、高校生の重要な課題となっています。一つの学校の中に「勉強屋」がいて、一方に「部活動屋」がいるというのは、両立とは言いません。五島高校生は「勉強も部活動も歯をくいしばりながら頑張る」というところに意味がありますし、それが真の意味での「両立」です。両立に悩みながら頑張っていることは、生徒の将来にとって、間違いなく「生きる力」になると思っています。

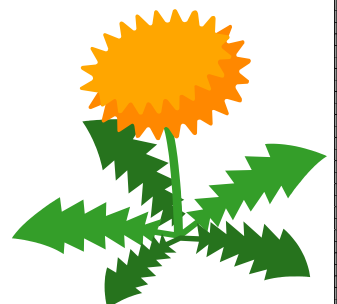
読書は豊かな想像力を養う意味でも、将来にわたる自己教育力の育成にとっても、欠かすことのできないものです。特に高校生の今だからこそ読むべき本があります。

また、速読力、要約力など読む力を総合的に高めることも必要だと考えています。そのために「豊かな時間」を含め、読書指導にも力を入れていきます。

さらに、「人間教育をするところ（根幹は生徒指導）」です。容儀検査、課題提出等において妥協しない、指導し抜く姿勢で対応します。生徒に指導をするということは、「一人前の大人に仕込む」、「社会のルールを教え込む」、「人情の機微を感じ取らせる」「学校が落ち着く」等々、多くのメリットがあります。職名「教諭」の中には「教え」とともに「諭す」という意味が込められていることを念頭に置いて、「叱る教育」も継続していきます。腰を引かずに指導してまいります。

最後に、学校というところは、「鍛えるところ」と思っています。「教えるべきことは教える」、「やらせるべきことはやらせる」。「鍛えるべきときに鍛える」ことも教育の使命だと考えています。自分自身を振り返ったとき、人生の中で最も頭が柔軟で、何でも吸収するだけの力があるのは、高校時代の3年間でした。この時期に習得したことは忘れませんし、人生の基礎・基本となっています。生徒一人ひとりの財産作りを支援していきます。

21世紀も10年が過ぎ、1年目に入った今年、激動の時代は相変わらず続いています。3月11日に発生した東日本大震災、大津波や原発の被害からの日本の再生を皆が念願しています。「がんばろう、日本」が合い言葉となっています。そんな11年目にあって、生き甲斐を持って毎日を過ごすキーワードは「思いやりの心」「先見の目（先を見通す力）」「人の心を理解できる心」「礼儀とあいさつに支えられた真摯な態度」です。東日本の被災者の方々を励ます意味でも我々がしっかり行動していく必要があると思います。生徒・教職員一同、精一杯頑張りますので、応援をよろしくお祈りいたします。



新任式・始業式・入学式（8日）

新任式・始業式が行われ、平成23年度が始まりました。新任式では、新転任者12名を代表して、轟田圭子教頭より、生徒とともに頑張る決意が述べられました。

始業式では、前田校長から、新年度に向けての心構えが2・3年生に向けて話されました。（概要は「校長室より」に掲載）

午後からは入学式が行われ、新入生183名が入学を許可されました。前田校長からは充実した高校生活を送るために「人格形成で最も大切な基本的生活習慣の確立」、「人との出会いを大切にしていきたい」「常に人生の目的を持って生きてほしい」との激励の言葉がありました。新入生を代表して1組の平野可奈子さんが「五島高校の伝統の継承と新たな歴史の創造に邁進します」と宣誓を行い、新入生による初々しくも力強い校歌が体育館に響き渡りました。



入寮式（8日）

4月8日(金)に入寮式が行われました。今年は男子3名、女子7名が新しく入寮しました。

入寮生を代表して1年6組の村山遥貴さんが挨拶をしました。その後、舎監長・副舎監長の紹介や寮における約束事の説明等が行われました。

親元を離れての生活に不安も大きいでしょうが、2・3年生の寮生がしっかり高校生活の手助けをしてくれることでしょう。これからの五島高校での生活を頑張ってください。

対面式（11日）

4月11日(金)に対面式が行われました。まず生徒会長の森田綾さんが歓迎の挨拶を、続いて1年7組の宗彩花さんが新入生を代表して挨拶をしました。その後、新転任の先生方の自己紹介があり、個性豊かな先生方の話を聞いて、緊張していた1年生にも笑顔が見られました。最後に「蒼き故郷」を2・3年生で合唱し、この新しい出会いを盛り上げてくれました。これからの1年生の活躍を期待します。



新入生宿泊研修（12日～14日）

4月12日(火)～14日(水)の3日間、国立諫早少年自然の家において1学年の宿泊研修が行われました。この3日間で「真の高生になる」ことを目標に、様々な活動を行いました。集団行動、校歌遠征歌の練習を通して「心を込めて活動する」ことの大切さを学び、五家ヶ原岳登山では困難に協力して立ち向かうことを学びました。クラスごとに励まし合いながら登った生徒たちをすばらしい景色が出迎え、達成感を持った晴々とした笑顔が見られました。また、夜にはクラスごとの自学の時間があり、静まりかえった集団の中で、黙々と学習に励み、「こんなに集中して勉強したのは初めてだ。」という感想が多く聞かれました。この経験も今後の学習に大いに役に立つと思います。最後はクラス対抗の「集団行動コンテスト」「校歌・遠征歌コンクール」が行われ、それぞれのクラスでまとまりが生まれたように感じます。この3日間を高校生活の原点として今後の生活に生かしてほしいと思います。

集団行動コンテスト	優勝 5組	2位 1組	3位 4組
校歌・遠征歌コンクール	優勝 7組	2位 1組	3位 5組



スポーツコース集会（20日）

今年度のスポーツコース新入生は、男子10名、女子5名の計15名です。会の最初に、轟田教頭の訓辞があり、教頭の部活動指導経験から心に響くお話をいただき、コース生は真剣な眼差しで聞き入っていました。そして、新1年生から元気よく自己紹介があり、それぞれが目標を掲げ、今後3年間努力していきたいと力強く抱負を述べました。上級生（3年内海架那さん・2年田口元気君）からも激励の言葉があり、この集会でコース生全員が、五高生としての誇りと、スポーツコース生としての心構えが高まったものと確信しています。

各学年主任から

【1学年】村田 誠

「鼎立って？」

1年生のみなさん、毎朝登校したとき、正門から続く階段を上ると書いてありますよね。「学習と部活動と読書の鼎立を」みなさんは何と読むか知っていますか？知らない人は何と読むか気になりましたか？私は何と読むのか、どういう意味なのか分からず、そこを歩いている2年生か3年生に聞いてみましたが、知らないということでした。(ゴメンね)そこで、辞書で調べました。読み方は「ていりつ」で、意味は「三者が互いに並び立つこと」で、鼎(かなえ)という中国古代の青銅器が三本の足を持っていること(さらに鼎は王位の象徴だったそうです)からきているということでした。よく学習と部活動の両立と言いますが、五島高校では2つではなく3つだから「鼎立」なんです。知らなかったことが分かるとスッキリします。知識が増えたことがうれしくなります。知らなくても何にも困らない、なんて言わないでください。生きるために必要でないことまで学ぶのは人間だけだそうです。人間の証明なんです。高校での勉強は楽しいことばかりではなく、苦しいことが多いかもしれません。しかし、何でも好奇心を持って、疑問を解決しようと努めてみると、分かったときはとてもうれしい。人間ならば・・・

たくさん疑問を持って、質問に来てください。先生方はみなさんを待っています！

【2学年】楠本 亨

2年生がスタートしましたが、もうクラスのメンバーや学年の先生方にもすっかり慣れたのではないかと思います。学年集会のときにも話しましたが、皆さんが今やっていることは、3月の東日本大震災で避難している人達からみればできない現状であることを踏まえ、自分自身がおかれている環境を前向きに捉えてこの1年を頑張りたいと思います。また、3月に行われた選抜高校野球の選手宣誓にもありましたが、生かされている命に感謝し全力投球してください。もし何か心配事があれば、担任の先生や学年の先生方に相談してください。親身になってくれる先生方ばかりです。

さて、2年生は部活動や学校行事において、3年生からバトンを引き継ぎ、学校の中心的な役割を担う立場になります。1年生に対しては、手本となるような容儀・行動をとらなければいけません。その自覚をもって行動してください。私だけでなく、2学年の先生方全員一生懸命頑張ります。しっかりついて来てください。保護者の皆様におかれましては、今年度もご支援・ご協力のほどよろしく願いいたします。

【3学年】増本 欣也

高校時代、日本史の先生の授業がおもしろくて、結局その先生と同じ大学に進み、同じ教官に習い、そして同じ道に進みました。あの時の「おもしろい」が今に繋がっています。

ついに3学年が始まりました。思い新たに、まっしぐらな毎日だと思います。さてこの一年で、君たちはどんなことを学び、知るのでしょか？競争すること。自分で自分の夢を勝ち取る大切さ、大変さ。自分自身を知ること、見つめること。そして保護者の方をはじめ、周りの人々との関わる大切さ。多くのことを考え、悩み、学び、知るので。

「好きなことが出来る幸せ」よく先生が言っていました。なぜ勉強しなければならないのかのヒントが隠されている気がします。私からも一言。「食欲になりなさい」

保護者の皆様へ。主任をさせていただきます増本です。職員一同、頑張ります。多くの面でお世話になります。ご理解・ご協力をいただければ幸いです。よろしく願いします。

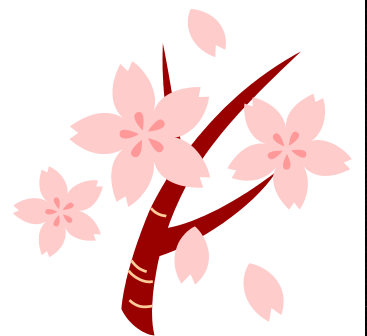
普通科63回生・衛生看護科36回生 結果総括

進路指導部

- ①国公立大学合格者数101名(過去2番目)
(国立大学合格者数76名(過去最高))
- ②国公立大学合格率64.3%(過去最高)
- ③難関大合格者数16名(一橋1名、阪大4名、九大11名)(過去最高)
- ④長崎大学合格者数22名(過去最高)
- ⑤私立大学合格者数79名
(早稲田、上智、明治、中央、関西、同志社、立命館、西南学院等含む)
- ⑥公務員希望者(自衛隊除く)5名合格
(長崎県警察2名、山口県警察、長崎市消防、五島市消防)
- ⑦衛生看護科：准看護師資格試験全員合格(29名)
※合格者数は現役生のみ延べ人数

自分の進路目標に向かって自主的に活動し、担任団がそれをサポートする学年団でした。やらされるのではなく、自発的にやるのがいかに重要であるかがわかります。

また、生徒達の学年への帰属意識が高い学年でもありました。進路目標を達成するには、もちろん学力が必要となりますが、努力を継続し効果的に学力をつけるためには、集団への帰属意識が有効です。これからも、学力伸長だけでなく、社会性・人間性を念頭に置いた指導を心掛けていきたいと思ひます。



生徒指導に関する教職員の努力目標

良き伝統を継承させ端正な身なりを保たせる。また校内外でのマナーの向上に努めさせる。

- ①礼法指導（あいさつ）を徹底する。
- ②頭髪、服装の基準を明示し、検査を定期的実施する。
- ③交通マナー（自転車・歩行）の指導を徹底する。

その他、藤村薬品の駐車場は立ち入り禁止となっています。また、下校時のリックでの自転車の駐輪マナー、車の駐車場での立ち話などで毎年苦情の電話が入っております。

今年は、小中学生や地域の方々からも信頼される五高生を目指してほしい。



新転任者の先生方を紹介します

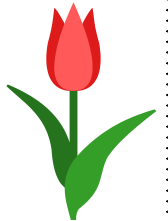
教頭 轟田 圭子	家庭科 川棚高校より	教諭 田中 夢美	看護科 新規採用
教諭 糸山 淳	芸術科 諫早高校より	教諭 竹添 公彦	数学科 新規採用
教諭 田中 雄一郎	英語科 富江高校より	講師 松本 奈々	看護科 1年間の期間付
教諭 村田 誠	数学科 佐世保北高校より	講師 中里 富洋	地歴・公民科 1年間の期間付
教諭 中村 美加	理科 佐世保北高校より	主任主事 平田 文晴	事務 富江高校より
教諭 猿渡 雄介	数学科 島原高校より	事務嘱託 寺脇 喜美子	事務 新規採用

分掌・学年主任の先生方を紹介します

教務部	高比良 裕	研修図書部	松嶋 勝徳
生徒指導部	引地 勝	衛生看護科	田代 章子
進路指導部	中野 秀紀	スポーツコース	濱口 嘉洋
生徒会指導部	酒井 明彦	寄宿舎	中村 孝士
教育相談部	木田 博子	1 学年	村田 誠
保健美化部	山口 一守	2 学年	楠本 亨
学力充実推進部	田中雄一郎	3 学年	増本 欣也

PTA総会のご案内 5月14日(土)

PTA総会および学級懇談会を5月14日(土)に開催します。学年・学級の資料も充実させ「学校や学年・学級の方針が分かった」と実感していただくことで、更に家庭と学校の絆が更に深まるものと確信します。学校へのご関心とご出席が生徒の高校生活を支えることとなります。多数の御参加をお待ちしています。



メールメイトへの登録をお願いします

学校からの配付物の案内や学校行事などの情報を保護者のみなさまの携帯電話にお届けするシステムです。手続きは下記のメールアドレスに空メールを送り、返信メールの示す手続きをするだけです。個人情報の取り扱いには万全の注意が払われていますので、安心してご登録ください。

登録アドレス gokou-t@m-mate.com

* 空メールを送ってもメールが送ってこない場合

○ docomo : i モードからの設定

「iメニュー」→「お客様サポート」→「各種設定」→
「メール設定」→「詳細設定/解除」→
(認証パスワード) → 「受信/拒否設定」
(ラジオボタンの「設定」を選んで「次へ」) →
「ステップ4」(受信設定) →
ドメイン名「m-mate.com」を入力して「登録」

○ softbank : アドレス指定設定

「メール設定」→「迷惑メールブロック設定」→
「個別設定」→「受信許可・拒否設定」→
「許可リストとして設定」→「個別アドレスの追加」→
「m-mate.com」を登録→「ドメイン(E-mail)」→
「このアドレスを有効にする」

○ au : Ezwebの指定受信

「メール」→「Eメール設定」→「メールフィルター」
→(暗証番号) → 「指定受信リスト設定」→
「m-mate.com」を登録

